

測量

0601

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

供賈

軍令部

軍第二六

經理局

勝

司員

背

公

明

青

青

一月十省
大臣官房受

一月十省
軍令部受

軍務局長 秋山

司員

原

藤田

木下

一月十九日起
一月廿日發濟

軍務局長

班

水

水

水路部長

水

測量計画

南洋群島方面測量、來六月迄計續々施行
ス。既ニ其全セリ又膠州灣方面測量、軍機
松江ヨリ來三月頃ヨリ着手セリタル、密ニ有之
其ニ中、昭々ニ來凡ニ従来、予定、八重山列島
方面ノ測量ニ從事シタル、故大洋航路ノ經測

0602

水

水

水

水

潮流測の太味崎沖観測、従事せしむる

者有之

右回をる

自下野州方面測量を要する
測量費臨時
軍事費交付せしむる

花崎綱

約一五〇〇
餘年外

0603

軍基 水路 軍備 軍衣 水

✓ ✓ ✓ ✓ ✓

一 金 五 拾 圓	測量材料、消耗品、備品修理費
一 金 五 拾 圓	舟車馬類備費
一 金 九 十 八 百 拾 九 圓 五 拾 錢 備 給	
一 金 百 八 拾 七 圓 貳 拾 錢 食 料 (六 十 五 日 分)	
一 金 貳 百 零 拾 九 圓 貳 拾 錢 航 海 船 俸 (六 十 五 日 分)	
一 金 貳 千 六 百 八 拾 圓	測量出張旅費 (百 日 分)
一 金 七 百 貳 拾 七 圓 八 錢	測量員東京海軍保間往復旅費
一 金 五 萬 五 千 七 百 五 拾 貳 圓 九 拾 八 錢	内 譯 水 一 二 五 九 五 . 〇

お 回 要 五 月 額 二 六 八 二 . 〇
一 時 費 用 五 五 〇 〇 . 〇
+ 〇 五 = 16,007.50

膠州灣測量經費摘要

39/1671
120
15
11

自 二 月
至 六 月

水路部計算

0604

備考

測量日数務定百六拾五日ノ内百日ハ測量出張

ト見續レリ、天候其他ノ都合ニ依リ出張在艦ノ日

数ニ異同ヲ生スレハ航海加俸、食料ト出張旅費

ト増減ヲ來タス

右

0605

供覽

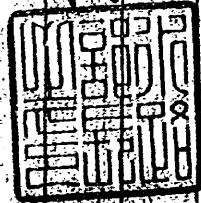
軍務局長

局員

水第三九七號六

大正三年十月廿四日

海軍省軍務局長秋山真之殿
水路部長上村経吉



測量計畫変更件

土月吉水第四二八号ニラシテ大正四年度測量
各方面計畫大臣ニ進達致置候處談
計畫ハ目下實施中ノ南洋方面及兼
テ東島局負ヨリ御内話有之候膠州灣以
南海面測量實施シ合ハス計畫セシム

軍第〇三三三號

海軍

軍

軍務局接受
③ 十月廿四日

0608



有之ハカ右南洋班ヲ續キ派遣シ置キ
又膠州灣班ハ明春ヨリ臨時軍事費ニ依
リ實施スル事ト相成バ自然先ニ提出ノ測
量各方面計畫ヲ變更スル必要相生スベク
ニ付別紙ノ如ク計畫ヲ變更シ測算ノ部
分ハ一方面終ラレ他方面ニ轉用セバ單ニ
朝鮮大同江附近ヲ巨濟島附近ニ變更シ
又陸前沿岸ヲ東京灣ニ變更スルミニテ
經常費之ニ相適應シ測ラシ得ラルベク
以テ前顯南洋班續行及膠州灣以南
測量實施ノ訓令ニ本案ノ如ク前計

0609

畫ヲ変更致スベクト条

右豫メ照會ス

追テ測量艦ハ南洋班・松江ヲ附ルコトセバ膠
州灣方面ニ他ノ艦ヲ附ルノ必要有之又關
東・九ハ先嶋群島方面終ラ後引續キ朝
鮮班・津合鍾測ニ從事セシメラレタラ候旨上
測量艦ヲ列記致置ト

(別紙一葉添)



0610

大連
沈陽

一千島列島北部 溫補古丹島及麻勘留島附近 （測量艦 大和）	二千島列島南部 得撫島東部附近 （測量艦 武蔵）	三先島群島 奥釣島附近及定島島東方海面、軍刺島南方海面 （工作艦 國島丸）	四朝鮮 巨濟島附近 （工作艦 新島丸）	五大連港 一、高、政測及港口水雷敷設面	期間 六月上旬至七月下旬迄	期間 同上
--	---	--	--	-----------------------------------	-----------------------------	---------------------

0611

六 東京近海

明金塔正西約五ノ段測

期間九月上旬看牙三月下旬

七 大村湾

期間土月上旬看牙三月下旬

ハ 南浜班

(測量艦)

九 膠州湾

(通商艦)

期間三月上旬看牙九月下旬

(修)

<http://www.jacar.go.jp/>

軍務第27号

大正四年二月十八日

軍務局長

水路部長

青島港内外測量に關する件

右に關し別紙一通 臨時青島要港部局長
中江重光氏へ 青島要港部局長
大正四年二月十八日

別紙(参考)

(終)

海軍

濟録目



0614

一頁

軍務局様受

年二月十日

時青嶋

港部

令官印

日/月/年

後宗超

終

際水

様致度

終

目録

大正四年二月九日

海軍省事務局

水路部

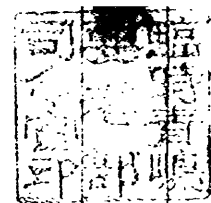
本件沿岸航路案内新ニ範圍内

ニ於テ施行ニトシテ決シタレ

終

0616

揮官ノ
此際水
様致度



日/月/年
終結起

軍務局接受
十一月十日

0617

紙箋 附

0615

記録員

大正四年十一月十二日
水政部
御中
此件ニ関シ何分仰意見承知致す

海軍省軍務局

関機密第一六七號

大正三年十二月三十日

関東九指揮官 犬塚助次郎

臨時青島要港部司令官 岩村團次郎殿

青島港内外測量圖ニ付

小官

冒義ニ當台領地港域内ニ從來設置シアリタル航路標識並ニ沈船位置調査ノ御下命ニ接シ該作業ニ從事致シ候處其原圖トテ使用セシ我海軍海圖第三七九號ハ尺度ハニテ精確ニ諸航路標識並ニ沈船位置ヲ測定スルニ困難ヲ感シタルヲ以テ幸ヒ上國所獲品トテ入手シタル獨乙級海圖(尺度七寸)ヲ使用シタル該海圖ノ構成不明ニテ天測点ノ如キ基点無之加フルニ基礎ノ不良ナ

0618

ルカ或ハ圖紙ノ伸縮ノ爲メカ我海軍海圖第三七九號
ト比較シ次ノ如キ誤差アリ

遊内山燈台アリアルコト燈台ニ至ル方位巨離

七十六度五分(磁針在北七二度十分東)一七五哩(海軍海圖ニヨル)

七十五度五分(磁針在北九度五分東)一八三哩(獨乙版海圖ニヨル)

而シテ以上六單ニ其ノ一例ニ過キス目標ノ撰擇如何ニ由リテハ測定
位置ニ著シキ差異ヲ生シ石方苦心ノ末漸ク先ニ提出致
シ候作業報告ノ通り結了致シ候得共當地海面ノ状況
殊ニ沈船位置ノ正確ナルモノヲ測知スルハ當港開港ニ伴
フ急務ノ一タラ疑ハス然レトモ要港部所屬ノ艦船ヲ
シテ之ヲ担任セシムルモ其ハ區域廣濶ニテ約十哩ニ亘リ且
ツ充分ナル測量器具ト無缺人員ヲ有セス基線測定
標高設置等到底完全ニ之ヲ遂行不能ハ徒ニ困

難ヲ軍スルニシテ其ノ獲ル所殆ントナク徒勞ニ歸スルト
信セラレ候ニ就テハ一百モ早ク水路部專屬ノ測量班ヲ
組織シテ當港ノ港泊圖ヲ調製シ軍事上ノ利用ハモ
トヨリ當方面開拓ノ資ニ供スルノ必要アリト認メ茲
ニ卑見提出致シ候也

(終)

海軍

0620

官

参謀長

参謀

副官

一月六日

大臣家

司令官

海軍

測量班派遣

測量班派遣

当方面、海軍、別紙、関東、指揮官、報告、通、り、構成、不、確、定、付、予、以、路、郵、電、屬、測、量、班、派、遣、相、成、協、定、云、々、

右、情、事、

(3)

貴、機、密、第、二、二、號

0621

関機部 一六七號

大正三年十二月三十日

關東九指揮官大塚助次郎

臨時青島要港部司令官岩村團次郎殿

青島港内外測量ニ關スル件

小官

覆ニ當占領地港域内ニ從來設置ニアリタル航路標識並ニ

沈船位置調査ノ御下命ニ接シ該作業ニ從事致便處

其原圖トテ使用セシ我海軍海圖第三七九號ハ尺度小ニ

ニテ精確ニ諸航路標識並ニ沈船位置ヲ測定スルニ困難ヲ

感シタルヲ以テ幸ヒ上函獲品トテ入手シタル獨乙版海圖

(尺度七、五吋)ヲ使用シタルモ該海圖ノ構成不明ニテ天測点ノ

如キ基点無之加フルニ基礎ノ不良ナカハ圖紙ノ伸縮為

青島港

海

官

0622

ナルカ我海軍海圖第三七九號ト比較シ次ノ如キ誤差アリ

雄内山 燈台ヨリ フルコナ島 雄内山 燈台ニ至ル方位巨濤

七十六度二十分(磁針方位北七十五度十分東)一、七五哩(海軍海圖ニ見)

七十四度。分(磁針方位北七十九度五分東)一、八三哩(獨乙版海圖ニ見)

而シテ以上ハ單ニ其ノ一例ニ過キス目標ノ撰擇如何ニ由リテハ
測定位置ニ著シキ差異ヲ生シ百方苦心ノ末漸ク先ニ提
出致シ候作業報告ノ通り結了致シ候得共當地海面ノ
状況殊ニ沉船位置ノ正確ナルモノヲ測知スルハ當港開港ニ供
伴フ急務ノ一タルヲ疑ハス然レトモ要港部所屬ノ艦船ヲ
シテ之ヲ担任セシムトモ其ノ區域廣闊ニシテ約十哩ニ亘リ且ツ
充分ナル測量器具ト舟艇人負ヲ有セス基線測定標高設
置等到底完全ニ之ヲ遂行スル能ハス徒ニ困難ヲ重ヌルモニ
シテ其ハ獲ル所殆ントナク徒勞ニ歸スルト信セラレ候ニ就テハ

一曰モ早ク水路部専屬ノ測量班ヲ組織シテ當港ノ港泊圖
ヲ調製シ軍事上ノ利用ハモトヨリ當方面開拓ノ資ニ供スル
ノ必要アリト認メ茲ニ卑見提出致シ候也

(終)

0624

供覽



軍務局

人事局

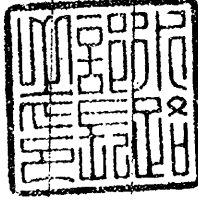
經理局



水第一五〇號

大正四年三月四日

水路部長上村經吉



海軍大臣八代六郎殿



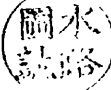
大正四年度測量計畫變更件



呈報、大正四年度測量計畫書及進達置候
處其後引續、南洋、面、州、以南
海面測量、件訓令相成候件、配員及
經費、都合上前計畫中第三項第七項、
別紙、通、変更、候
右進達、

軍務局檢受、人事局受

大正四年三月六日



0626

(別紙 壹葉添)

(終)

注

目

0627

大正四年度測量計畫書中改正

第三項

朝鮮大同江附近ヲ朝鮮巨濟島附近

ニ改メ

期間四月上旬ヨリ土月下旬ニ至ル

第七項

陸前沿岸自野蒜崎至歌津崎ヲ東京

海灣ニ改メ

期間九月上旬ヨリ三月下旬ニ至ル

海
軍

供覽

軍務局

奉命調査、件
研究、
分、
了、

水第四二八號ノ二

大正三年十月十五

水陸部長上村経吉

海軍大臣八代六郎殿

大正四年^局測量計畫書、件
別紙、通り計畫

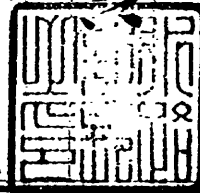
致候

右進達ス

(別紙志葉添)

海軍

軍務局接受



0629



レ内：四半三四月
北東上。号手計心

大正四年度測量計畫書

一千島列島北部

温補古丹島及麻勒留島附近

期間五月上旬着手十月上旬ニ至ル

二千島列島南部

得撫島東部及附近

期間五月上旬着手十月上旬ニ至ル

三朝鮮

三年度大黒山島附近 残部及大同江附近

期間三月下旬着手十月下旬ニ至ル

四先島群島

魚釣島附近及宮古島東方海面

八重山列島南方海面

期間二月下旬着手八月上旬ニ至ル

五大村湾

期間八月上旬着手十月上旬ニ至ル

0630

大々

武々

松江

東東

班

六六連湾

一部改測及湾水雷敷設面

期間

四月中旬着手七月下旬迄

七陸前浜岸

自野蒜至歌津崎

期間

四月上旬着手十月下旬迄



0631

昭和

昭和

軍務



No. 840

新 5-11-1

大正 年

月

日

時

分

局

發

大正 年

月

日

時

分

局

着

發信者

松江艦長

受信者

大佐

電報譯

七月三十日

フワール 3 刻 5 分 量ヤ

第二課長

局員

第一課長

海

軍

0632



局 後 受
八月四日

電報着信紙

局 着		局 發		名氏所居人信受	
取扱者	受信 付午後 時分	受信 付午後 時分	第 号	官報 局	沙 年 月 日
	字	日	號		
測量了ス 八月廿 松江船長			定 指		マ
			ウ ス リ コ ウ キ ワ リ		
番着 號信		紙 數	名氏所居人信發		
7		第 五 號	マ		
印附日信着					
軍務局 受			全八月廿四		

063 國水誌路

0633

水 事 鈴

月 日

海軍省

水

大 局

水

九月廿一日
大臣官房受

軍務局長

局員

水

水

水

水路
圖誌

大正四年九月

九月廿二日起

月廿二日發行

大正四年九月廿二日發行

軍務局長

(附)

米國大使館附海軍武官宛

海軍省

近來、測量事項之開タル件

本件ニ関シ、九月十四日附市照會、綴テ承本年八月

以後測量等ニ據リ、朝鮮其臺灣支那間諸島殊、

大馬山群島及「ハイトロクラファ」群島附近ニ於テ

ニ新発見ノ暗礁其、他海图上改正ヲ要スル事項ハ

大要別紙ノ通夫、海圖ノ新刊、改版及大改ニ其

ノ他、海図ノ新刊、改版及大改ニ其

ハ、海図ノ新刊、改版及大改ニ其

海

宣

0634

右回答

(別紙四葉所)

海

軍

終

0635

別紙

新刊	第一二五十一号	（釜山至馬山浦）	四、二、二七
	第一二五十二号	（巨濟島近海）	四、三、一七
	第一二五六号	（時牙海及附近）	同前
	第一二五七号	（牛耳群島及附近）	同前
	第四一十一号	（北江）	四、四、九
	第一二〇八号	（大瀨崎至濟州島）	同前
	第一二五八号	（濟州海峽）	四、五、三
	第一二〇二号	（打狗港）	四、五、二九
改版			

海

軍

尾
烟
納

0636

第五〇〇号 (鄱陽湖) 二二七

第四九四号 (南京至東流) 三二七

第三九二号 (黃海北部及渤海) 四九

第四八九号 (揚子江口) 五二九

大改正

第四〇〇号 (吳淞江及附近) 二二七

第四三九号 (温州湾至韭山列島) 二二七

第四四二号 (韭山列島至象山浦) 三二七

第四四五号 (温州湾及附近) 四九

第三〇二号 (朝鮮南岸) 五三

第三九八号	(崇明島及附近) 五、二九
第五〇三号	(揚子江諸分図第四) 五、二九
第二〇五号	(長崎至山東高角) 六、九
第四九〇号	(揚子江南方附近) 六、三〇
第四二三号	(珠江一名廣東河西部) 七、二七
第四一二号	(西江第二) 七、二七
第四二四号	(珠江一名廣東河第二) 九、四
第四九六号	(揚子江至漢口) 九、四
危險告示	
第一四項(暗礁發見)	大同江

第二項	(暗岩発見)	閩江
第五三項	(暗礁発見)	銅山津(朝鮮東岸)
第一二項	(暗岩発見)	朝鮮西岸(大黒山群島)
第四四項	(點難発見)	廣東港
第五七項	(點難位置訂正)	廣東港
第二八項	(點難発見)	大連港

軍務局

海

軍 軍務局接受

大正四年九月廿九日

鳥片大尉

九月十日

船政少佐

朝鮮支那台博方面に於ての出収海關を告示する件

大正四年一月以降に於て朝鮮支那台博方面の新刊
改正大改正危険告示、大要に別紙を通す。有之。其
右田舎

(一)

0640

新 二五二号 (三山島馬山浦) 北、三、七
 二五三号 (巨港多良港) 北、三、七
 二五四号 (時子海女附近) 旧系
 二五五号 (中車路多良港附近) 旧系
 二五六号 (北江) 北、九
 二五七号 (大瀬崎島海女附近) 旧系
 二五八号 (河内海女) 北、五、三
 二五九号 (折鶴港) 北、五、三

水 高

1	0
振	鏡
H	

海

水 高

0641

外館後考示

卯一七項(晴雅為元) — 大田江
卯二二項(晴雅為元) — 國江
卯五三項(晴雅為元) — 銅山村(晴雅為元)
卯一二項(晴雅為元) — 經解西(大田山群島)
卯一四項(晴雅為元) — 廣東港
卯五七項(晴雅為元) — 廣東港
卯七八項(晴雅為元) — 廣東港

海

0644

米大侯波海軍司令官 各口大佐

朝解、山口博 支那最近
大黒山新報

号ノ付美シ好ニ属本及

ク
ス
ハ
ク
ン
一
フ
ウ
フ
アイ
エ
上

在事ノ海國ニ就テナカリシコト

海風行及新晴測布告

お一人は此の
ところから

[illegible]

南方新報

0645

TELEGRAPHIC ADDRESS:
ALCANTA TOKYO.

TELEPHONE: BANCHO 2910.

軍務局

AMERICAN EMBASSY,
NAVAL ATTACHE.
TOKYO.

September 14, 1915.

From: Naval Attache, American Embassy, Tokyo.

To : 局 Captain Taniguchi, I.J.N.,
員 A.D.C. to the Minister of the Navy.

SUBJECT: Data on recent surveys.

Any data on recent surveys around the islands between Chosen and Taiwan and China, particularly the Mackau and Hydrographer Groups of Islands, which data have not been included in published notices to mariners, is earnestly requested, in order that charts may be corrected and any new shoals discovered may be made known.

[Signature]



軍務局接受
廿九月十番

0646

水部

水部

水部

海軍

海軍

海軍

海軍

4.11.23

4.11.23

4.11.23

水部

水部

水部

水部

水部

水部

大正四年十一月廿九

有

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

大正四年十一月廿九日發布

0647

11.23

4.11.23

陸地測量部 第三二號

地形測量施行ノ件照會

大正四年十月十日 陸地測量部

海軍省 様



經 閣 御 取 計 相 成 度 候 也

大正四年十月中旬ヨリ同五年月下旬迄左記地區ニ於テ現
行図修正目的ヲ以テ地形測量施行爲致候ニ就テ右
期間内便宜貴省所轄構内ニ立入測圖可致候間可
追テ詳細ノ件ハ測量主任官ヲシテ其都度書面若クハ
口頭ヲ以テ直接照會可爲致候間夫々便宜ヲ興ヘラル様
貴省下ヘ示達相成度申添候

陸軍省 第三二五五號

陸 軍



陸地測量部 受

0649 0648

山形

別表海軍省用地
何々ナリヤ

北豊島郡龍島村ニ送兵敷大集
南豊島郡
丹後県津久井郡

軍務局

海軍省

大正四年十月十日 陸地測量部

測量部

經理

大正四年十月中旬ヨリ同五年月下旬迄左記地區ニ於テ現
行図修正ノ目的ヲ以テ地形測量施行為致候ニ就テ右
期間内便宜貴省所轄構内ニ立入測圖可致候間可
經 理 齋 御 取 計 相 成 度 候 也

追テ詳細ノ件ハ測量主任官ラレテ其都度書面若クハ
口頭ニ以テ直接照會可為致候間夫々便宜ヲ興ヘラル様
貴省下ハ示達相成度申添候

陸軍省第三五六五號

陸軍

0649

昨十七日、送ノ地業第三号ヲ以テ
町會ノ地形測量施行ノ件、中別
紙記載ノ事項脱漏致候ニ付、追
送候也

大正四年十一月十八日

陸地測量部

軍

0651

0650

左記

(地業第三号ニ対ス)

東京市南葛飾郡南足立郡北豊島郡

荏原郡豊多摩郡北部

陸

軍

0651

0650

官房第三五六五號ノ二

大正四年十一月二十九日

海軍省副官谷口尚真

地形測量ニ關スル件
本件ニ關シ別紙ノ通陸地測量部ヨリ
照會有之候条右清了知ノ上測量
上ニ關シ直接貴方へ申出アリタル場合
ニハ可然便宜ヲ照ヘラレ度
右依余申進ス
(別紙一葉係)

(終)

0652